今号の主な記事

愛媛県八幡浜港で「一日海員学校」

横浜で帆船「日本丸」海洋教室

北海道・九州で政治参与会

ULIST

全日本海員組合発行第3066号(昭和25年8月24日第三種郵便物認可

2024年(令和6年) 10月5日

本紙は毎月5・15・25日発行

〒104-0053 東京都中央区 晴海4丁目7番28号 ホテルマリナーズコート東京内 全日本海員組合本部 発行人 齋藤 洋 TEL 03-5410-8329 FAX 03-5410-8337 定価1部50円 (組合員の購読料は組合費に含む)

組合員の団結の

0)

象徴

·本部会館「本体

および組合執行部員、設計・監理会社である有限会社野沢正光建築工房(石黒健太代表取締役等)、施工会社 神事には、建築主を代表し松浦満晴組合長、田中伸一組合長代行、鈴木順三組合長代行をはじめ中央執行委員

東京都港区六本木にある海員組合の本部会館について、令和6年9月12日15時30分から竣工式を執り行った。

である株式会社竹中工務店 (佐藤恭輔専務執行役員等)、計4人が参列した。

竣工式

6日から本部

の本部会館は、昭和39年か 表し松浦満晴組合長から「こ して長きにわたり組合活動を 竣工式終了後、 "組合員の団結の象徴"と 建築主を代

えることで、

ってもらい、船員の担い手を 室など新たに開けた機能を備 支えてきた。今回の改修工事 によって、展示室や図書資料 海上の仕事を知 を、

増やし、 とすることができた。本工事 未来を紡ぐための新たな拠点 といった私たちの想いと活動 今後5年、100年と、 、後世に伝え・残す

させていただきたい」とあい 保全についてもしっかり対応 工会社として、今後の維持・ 全日本海員組合本部会館改修工事 12 9 月 E

ら「本プロジェクトの目標 **占の佐藤恭輔専務執行役員か** た」とあいさつがあった。 最後に、株式会社竹中工務

に完成を祝った。

大規模改修工事が完了耐震補強・内装など 建物の修繕・ 組合の本部会館は昭和39年

は、建物の機能性・快適性

過したのち、令和5年1月10 日より大規模改修工事に着工 より建設され、築0年近く経 建築家・大髙正人氏の設計に 戦後の建築界を牽引した

着手しており、全工程の完了

上事などの仕上げ工事に

は令和6年11月末を見込んで

和6年12月13日から15日

いる。

よび内覧会の開催を予定して

れてきた近代化建築の保存と 継承を行うことであった。施

げつつ、60年前より受け継が 省エネ性は現行水準に引き上

> さつがあった。 となって取り組んだ関係者 これまで竣工に向けて一丸 その過程を振り返り、

きたこと、われわれにとって けるというその過程を経験で

平当に貴重な

7年間とな

期を紹 り引き渡しを受けた。 会社の株式会社竹中工務店よ の令和6年9月13日に、施工 した。 その後は家具搬入・設置や 式を迎えた。 そして翌日 争」 が完了し、 この度の **佣強・内装といった「本** 経て、建物の躯体修繕・ およそ1年8カ月の工

越しを行い、12月16日より新

京都中央区晴海)からの引っ

ルマリナーズコート東京・東

海員福祉研修会館(ホテ

にかけて、現在仮移転してい

8日には建築業界向けの竣工 たな本部会館にて本部の業務 業界向けの竣工セレモニーお 月10日・11日には海運・水産 セレモニーおよび内覧会、12 を再開する。 また、令和6年12月7日・

負・自信が建築物と同調し、 ら一番に学んだこと、それは は『僕が海員組合の皆さんか 前に、この度の改修工事の設 ことを、今でも鮮明に覚えて 熱とたゆまぬ努力に感謝申し 歴史的な建物が残り、使い続 計を行った当社の故野沢正光 に身の引き締まる思いがした の在り方についてご相談をい いうことです』と語っていた。 とに裏付けされた社会的な自 必要である。とつながって にだき、歴史ある建物の継承 からは「平成29年開催の大高 、なければ建物は残らないと **陸物を所有する組織が持つ歴** 工房の石黒健太代表取締役 ·げる」とあいさつがあった。 ンポジウムの際にこの建物 大氏に関する文化庁主催の 令和4年12月の着工直 有限会社野沢正光建 神事のようす 神事•松浦満晴組合長

いる。







に携わった全ての皆さまの情



135

•

海員学校」開

た。この体験乗船は、宇和島運輸株式会社のフェリー「れいめい丸」と「あかつ き丸」で、八幡浜港と大分県の別府港を往復して学習するもの。操舵室や機関室 し、愛媛県八幡浜市在住の小学校4年生から6年生までの児童100人が参加し 8月22日、愛媛県八幡浜港で、本組合主催の体験乗船「一日海員学校」を開催

船や海を楽しく勉強して、将来は船員に

の見学のほか、船と船員、 海の生物の勉強会などが行われた。



小学生が体験航海

れいめい丸・あかつき丸に乗船し

タッフから魚の習性などにつ の勉強会が行われ、水族館ス の中を泳ぐさまざまな魚やイ 設内を見学した。大きな水槽 たことを楽しく学んだ。 は普段知ることのできなか いて説明を受け、子どもたち か、見学途中には、海の生物 ルカショーなどを楽しんだほ まご」に移動し、班ごとに施 リーンパレス水族館「うみた

あかつき丸に乗船 別府港からの復路は「あか 幡浜港へ帰港

あかつき丸

1 11 mm 11 1

ど、今日一日で学んだことを と船員さんに関する勉強会な 択クイズに挑戦した。一問 が行われ、船などに関する4 !!船の検定ウルトラクイズ_ つき丸」に乗船し「班☆対抗 班の仲間と話し合い、

「れいめい丸」に乗船し、子ど

開校式が終わると全員が

れいめい丸に乗船別府港へ出港

楽しく勉強して、将来は船員

参与の菅森実愛媛県議会議 られた。続いて、本組合政治 幡浜市長からあいさつが述べ 代表取締役社長と大城一郎八 松岡正幸宇和島運輸株式会社

そのほかの来賓が紹介さ

スタンバイ中の機関室を見学。 もたちは数班に分かれ、出港

乗組員から機器やエンジンの

一今日一日、船や海のことを

になってほしい」と主催者代

表あいさつが述べられた後、

り、田中伸一組合長代行から

午前9時に開校式が始ま

日海員学校·開校式

が上がり、初めて入った機関 くてびっくりした」などの声 「エンジンが思った以上に大き 明を受けた子どもたちからは きな機関室で、乗組員から説 仕組みなどが説明された。 室に驚きを見せていた。

の勉強会が行われた。 検のほか、船と船員について 内では、操舵室見学や船内探 へ向け出港した。航海中の船 いめい丸」は大分県の別府港 機関室見学が終わると「れ

場委員と村上大基愛媛支部執 仕事について、プロジェクタ 行部員が、船の役割や船員の では、宇和島運輸の清家勉職 うみたまごを見学 大分県·別府港到着 ・を使って講義した。 船と船員についての勉強会

うみたまご見学









先生があいさつを述べ、無事 保護者が出迎える中、旅客々 り、大いに盛り上がった。 中には難問に正解する班があ 活かし、クイズに回答した。 立神山小学校の松上礼記教頭 った。閉校式では、除補修中 ーミナル1階で、閉校式を行 四国地方支部長と八幡浜市 八幡浜港に到着し、多くの 聞けたことが良かった▽船の た▽船はたくさんの人と機械 だけ真剣に私たちを安全に乗 仕事をしている人たちがどれ える機械がすごかった▽船の とを知った。海水を真水に変 中の電気は船で作っているこ いろんな機械を見て、説明を せてくれているのかがわかっ

とめぼれし、このような職業 きたので、とても良い思い出 んたちは海で危険なこともあ に就きたいと思った▽船員さ になった▽航海士の仕事にひ ったことのない場所を見学で 体験乗船の感想アンケー 子どもたちからは▽船でス 強になった―などの感想が寄 難しかったけど船について勉 詳しく知ったので、大人にな たようすだった。 夏休みの貴重な思い出となっ せられ、「一日海員学校」 事に就きたい▽クイズ大会は にしたい▽海に関係のある仕 なった。船員の仕事について って職業を決めるときの参考

別府港に到着すると大分マ るこの仕事に誇りをもってい 関室はとても暑くて大きな音 てすごくかっこよかった▽機

中心

中、横浜みなとみらいに係留されている国の重要文

8月22・23日の2日間、夏休みの終わりが近づく

日本丸」の海洋教室



士と機関士の仕事について紹 行部員が船と船員についての 地方支部の中山航志在専従籍 執行部員と安蔵巧在籍専従執 するビデオ視聴に続き、関東 講義では、船の種類や航海 開講式と帆船日本丸を紹介

者を追うように次々と前進 かなか踏み出せなかったが、 船日本丸・横浜みなと博物館 かって笑顔でピースのポーズ を決めた。また、併設する帆 し、先端に着くとカメラに向 では、船と横浜港の歴史につ 人、二人と進み出すと前の

を想定した避難訓練を行った クメイクを行った。 する居室において、一人では け布団に苦戦しながらもボン 持て余す毛布とシーツを協力 続いて、船内での火災発生 夕刻、自分たちが寝泊まり け声に合わせ、どんどん声も

周辺を散策し横浜港の夜景を を頬張った。夕食後は日本丸 2日目は朝6時3分に日本 疲れた体に染みるカレー ほか、頭を悩ませながら難易 う磨き体験、ロープワークな きをやり遂げた。 大きくなり、最後は叫ぶよう にして元気いっぱいに甲板磨 とさまざまな体験学習をした 朝食後は、縄打ち・真ちゆ

問を通して船と船員への理解 例えるなど、子ども目線の内 クイズを交えたり、アニメに 講義に参加してもらえるよう 容とし、子どもたちからの質 介し、子どもたちが積極的に を深めていった。

もたちに、練習船で着用する 練センター)に集合した子ど モリアルパーク研修施設(訓 小学生22人が参加した。

初日の午前10時、日本丸メ

財団法人帆船日本丸記念財団」にご協力いただき、 の帆船日本丸海洋教室を開催した。後援には「公益 化財、帆船「日本丸」において全日本海員組合主催

輪を回そうとしがみついた 自分たちの身長より大きな舵 テンドグラスに目を輝かせ、 見学から始まり、大きなマス トを見て歓声を上げたり、ス 午後の部は、日本丸の船内 終始満面の笑みで日本丸

さつした後、指導員となる日

本丸職員や展帆ボランティア

宮成昭関東地方支部長があい 信船長と主催者代表として高 顔があふれた。

開講式では、日本丸の村田

袖を通した子どもたちに、笑 作業着と帽子が手渡された。

さんの紹介が行われた。 として参加いただいた看護師

前方に突き出したマスト)渡 バウスプリット(日本丸の

眠そうに、小さな掛け声と共 の実を使った甲板磨き(タン 丸甲板上に集合し、練習船体 に磨いていたが、すぐに乗組 ツーン)が行われた。最初は 操を行い、体をほぐすとヤシ

離れた子どもたちであったが、 の海洋教室を終了した。 が手渡され、無事に一泊日 仲間と協力し合い、乗り越え、 |回りも| |回りもたくましく 海洋教室の2日間、親元を

なり、笑顔で家族の元へ帰っ



開講式・あいさつする髙宮成昭



員スタッフの気合の入った掛 は満ち足りた表情を浮かべて 作成した。苦労して編み上げ 度の高いナポレオンマットを プレゼントされ、子どもたち た作品は記念のお土産として 閉講式では認定書と記念品



の活動にご理解とご協力をい

頃から私ども全日本海員組合 長である松浦組合長から「日

ただき、深く感謝申し上げ

れについて▽新型コロナウイ

に政党、関係省庁への申し入

海事振興連盟ならび

はじめに、松本北海道地方

申し上げる。本日は、活発な

会議を開催できることに感謝

り、議事に入った。

政治参与全員が参集の下、当 文部長が「本日は道内の組合

息見、論議をよろしくお願い

したい」とあいさつした。 次に、政治活動委員会委員

8月28日、北海道札幌市内のホテル札幌ガーデンパ

身合

部4人が出席した。

は松浦満晴組合長、立川博行中央執行委員、開催し、北海道地区の組合政治参与各位と、

全国発信記事

北海道

138

意見交換で の理解深める

令和6年度 北海道地方政治参



レスにおいて、令和6年度北海道地方政治参与会議を 合政策部長、松本順一北海道地方支部長のほか、執行 る。本日は、限られた時間の 員会事務局次長である遠藤総 中で先生方と意見交換をして 全国大会決定事項に伴う政策 合政策部長から▽第8回定期 いきたい」とあいさつがあ 行政的対応を要する諸課題 報告事項では、政治活動委 遠藤飾総 組合から 疑応答を行い、理解を深め があり、報告事項に対する質 の連携について一などの報告 ら▽大会決定事項に基づく申 内の政治活動として、池上幸 について一などを報告した。 について▽政治参与との連携 興連盟酒田タウンミーティン し入れについて▽政治参与と ついて▽海事振興連盟を通じ グについて▽各種選挙の結果 た政策活動について▽海事振 へ北海道地方支部副支部長か 続いて、北海道地方支部管

における活動について▽船員 組合政治参与からは▽地区

海道地方政治参与会議を閉会

性化について質問を行った。

できたのは、海員組合と関係

ー・旅客船の支援・維持・活

定例議会において、フェリ 福崎智幸大分県議会議員

ルス感染症への対応について ▽情報通信インフラの整備に ▽カボタージュ規制について 固定化に関する活動について の後継者確保・育成に関する 相互理解を深めた。 応答形式で意見交換を行い 活動などについて▽海の日の などの報告がなされ、質疑

りがとうございました」とあ いさつがあり、 令和6年度北 る。本日は貴重なご意見、 期で開催したいと考えてい るべく先生方が出席できる時 総会の開催時期について、な 員から「今年も無事に開催で 務局長である立川中央執行委 きたことに感謝する。今後は 最後に、政治活動委員会軍

九州政治参与会

船員政策に前進を

い」とあいさつした。 本組合は活動を展開してい

いるものと思われる

われているが、様々なところ ればいい例になるのではない を進めたい。船員税制につい 的な運航のために今後も活動 る。フェリー・旅客船の安定 に厳しい対応が迫られてい れ、新市長のもとで行政が行 かと個人的には考える ては、大都市の事例などがあ 昨年、本市は市長選が行わ

実施な めてい た。洋上投票制度の周知も求 県から各市町村に船員税制の •福司山宣介鹿児島県議会 を促すよう意見を行っ いきたい

ている れ、予算確保を本年も維持し 知事も直接申し入れを受けら 半であり、離島航路、船員の を強く働きかけたい。現 育成に水産高校の維持 買は船舶に頼るものが大 児島県は離島も多く、生

過去、沖縄水産高校と工業 中止まで追い込むことが を統合する計画が出た 交換を行った後、本組合の政 なる協力をお願いし、 け、組合政治参与各位のさら 策課題、船員政策の実現に向 の報告の内容について、意見 その後、組合政治参与各位

▼仲村未央沖縄県議会議員

沖縄支部

全国発信記事

=発信

長から「日頃から先生方のご 支部長の司会で進められ、各組合政治参与から活動の 九州政治参与会が開催された。会議は、柴田哲也沖縄 る。新型コロナウイルスの影 組合を代表して松浦満晴組合

政治参与会開催にあたり、

も力を合わせられるよう有意 きる場にもなっている。今後 変えた

実績を分かち合い

市町 らいただく声を各議会等を通 この政治参与会は、現場か 後の活動方針に反映させた **店動を聞かせていただき、今** る。本日は、先生方の様々な 莪な会としたい」と、あいさ **1、県を超え、意見を共有で** し、変えるきっかけとなり し、城井崇衆議院議員から 続いて組合政治参与を代表

▼奥村直樹北九州市議会議員

全日本海員組合 九州政治参与

報告が行われた後、 船員を取り巻く政策などについて **恵見交換が行われた。**

9月2日、沖縄県那覇市において、全日本海員組合

報告が行われた。 政治参与各位の活動について る諸活動を報告した後、組合 合(本部・九州管内)におけ つが述べられた。 会議に移り、全日本海員組

' | 理解とご協力に感謝申し上げ

政治参与各位の活動報告

らず、感染対策を取りながら

読5年近く続いたにも関わ

城井崇衆議院議員

業法に関すること、海友婦-させていただき発信してい を発信している。港湾運送事 国土交通省に対し、様々な声 委員会野党筆頭理事として、 考えている。現在、国土交通 今後取り上げられるだろうと る。船員教育機関の教員不足 について、国会でも取り上げ の船舶内常備、情報通信イン が、このような動きになって 会の陳情活動など皆さまの力 についてもご意見を参考に、 新型コロナウイルス飲み薬 船員の確保・育成

て実施すべきと要望を挙げ、 祝制については、 県とし いきたい ており、事業の継続を求めて 確保・育成支援事業に注視し ている。現在、離島航路船員 団体の連携による力だと思っ

うれしく思っている。今後と も連携し頑張っていきたい 与につながっていくと感じ、 定員拡大について活動を行っ てきた。活動と実績が仲村参 •崎山嗣幸前沖縄県議会議員 これまで海員組合と連携 沖縄水産高校の存続や

与会を終了した。

尾道水道を航行する百風(備後商船)

を重ねて、なかなか会に集ま

分も含めてかなり高齢になっ けとなれたらありがたい。自

てきたが、しっかりと備後海

OB会総会では「みんな歳

定例会を開催している。 会員数は30人で、月に1回、 今年で44年を迎えた。 現在の

るのが難しくなってきた。今

顔を合わせることが大

員OB会を守っていくととも

「海の日」表彰式典

に、これからも会員全員が健

や刺激をもらえる」と会長の

備後海員OB会

備後を見つめて44年 これからも組合活動の手助け



で、尾道支部長も歴任され さんは海員組合執行部OB 金森洋輔さんが語った。

令和5年度の活動報告の後 総会は議事次第にもとづき 出席し、OB会を激励した。 院や尾道市議会から来賓者が B会総会」には、尾道海技学 よう」 などを掲げた令和6年 原点は足である。ふるって **貝の勧誘を図り、仲間を増や** 歩け歩け』に参加し健康第 海事思想普及協賛ボランテ して交流と親睦の強化に努め に努め、会員の趣味を増や 相互の交流を図ろう」「会 今回の「第4回備後海員の

度の活動方針を採択した。 について金森会長は「海員組 **| 信道支部とは、これまでも** 総会の最後に、今後の活動

員OB会」の第4回総会が7 -心に構成している 「備後海

に居住している組合員OBを

用して開催された。 10日、尾道支部の会議室を

備後海員OB会の歴史は古

昭和56年7月に発足し、

り情報交換したりと、連携し 共に地域メーデーに参加した

て活動している。これから

少しでも組合活動の手助

中品



「海の日」表彰式典& 横浜開港

165周年みなと祭

果運輸局長より表彰を受け さんが受賞し、新しく関東運 ノェリー株式会社の玉野大志 の栄誉をたたえられ、東京湾 表彰状並びに感謝状の伝達

あいさつがあり、式典は終る 述べ、最後に受賞者代表から 港湾局長他2人が来賓祝辞を 授与の後、新保康裕横浜市

われ式典を終えた。

全国発信記事

関東

地方支部 =発信

2回「海の日」表彰式典が行 関東地方整備局、第三管区海 上 保安本部主催の 今和 6 年第 会館において、関東運輸局

としては、永年にわたる勤績 団体が表彰され、船員の部と 式典においては、54人と1 真一さんが受賞し、 山中竹春 株式会社新日本海洋社の富永 船株式会社の鈴木勇人さん 浜市長から表彰された。 船員関係者として、東海海

港湾エンジニア・船員の各代 いて表彰状の授与が行われ、 に対し、永年にわたる横浜港 湾エンジニア38人、船員2人 り今回表彰の対象となった港 、の貢献がたたえられた。続 表彰式の冒頭、山中市長よ 7月26日、横浜市開港記念

国際客船ターミナル内の大さ 7月31日、横浜港大さん様

事関係者表彰式が行われた。 港165周年みなと祭優良海 ん橋ホールにおいて、横浜開







小樽地区沖合底曳網漁船

、樽港より出 3カ月ぶりの操業始まる

全国発信記事

北海道 地方支部 =発信





休養と本船・漁具の整備を行 新世丸(小樽機船漁業協同 漁を切り揚げ、約3カ月間、 部)の4隻が小樽港から出漁 組合)・第85日東丸 (日東水 の第81桂丸 (伊藤漁業部)・ 座)・第57三光丸(盛本漁業 い、出漁準備を整えていた。 した。 小樽地区は6月中旬に 9月15日、当地区所属船

ねー」と元気にエールを送っ 向け「お見送りありがとう。 全のエールを送られた各船 た。大漁と安全操業、航海安 を精一杯張り上げ「頑張って 組員は「ケガ、事故なく頑張 前に集まり、出漁に向けて乗 頑張ってまいります」と応え み、見送りに来た家族たちに 出港した。 員の家族や会社関係者が岸壁 船が出港し岸壁を離れだす たい」と意気込みを語った。 出港時刻が近づくと、乗組 家族・子どもたちは、声 大漁を目指すと意気込

地引網漁業、まき網漁業、底 は、定置網漁業、刺し網漁業、 網を用いる漁法(網漁業) 安全操業と航海安全を祈る

※底曳網漁業とは

曳網漁業など、さまざまな漁

と底曳網漁業は、本船が漁場 業が存在するが、まき網漁業

を移動して操業する漁法。

般的には、まき網漁業は



投票期間

底魚を主対象としている。

家族が見送り

カレイ、エビ、カニといった 浮魚を、底曳網漁業はタラ、 アジ、サバ、イワシといった

様な底魚類を漁獲する漁業。

または引き寄せて多種多

に直結した袋状の漁網を曳航

た曳き網(ワイヤーなど)

底曳網漁業は漁船から伸ば





0 4 3 関東 029 格を喪失したので告示する。 《企業区·企業単位》 二、次の者は、規約第47条A項8号により、 06 九州関門 中四国 川崎汽船

036 032 0 4 2 0 3 7 0 3 1 096 商船三井さんふらわあグルー 関東地区内航

にグルー 関東地区外航Cグルー 関東地区外航Bグルー 高松地区汽船グループ 関東地区内航Dグルー 三ノ輪 正裕一裕太信宏洋志也亮郎之智

第39期全国委員・補充選挙の告示

第39期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示 規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、

地方単位 地方単位 06 《選挙単位コード・単位名》 一、補充選挙の実施日程 、補充選挙を行う選挙単位と補充定員 $_{4}^{0}$ 九州関門 関西

1 名名

候補者告示 2024年10月5日より 2024年10月15日より 2024年10月15日 2024年10月14日まで

二、補充選挙の被選挙し 当選人告示 地方区 2024年11月14日まで 2024年1月15日(予定

至国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日

2024年10月5日 中央選挙委員会

洋

を有する執行部員とする。

に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格

第39期全国委員の資格喪失告示

俗を喪失したので告示する。 《地方区·地方単位》 次の者は、規約第47条A項6号により全国委員資

五、補

、補充選挙の実施に関する問い合わせ先

中央選挙委員会事務局(総務部)

る様式に基づく立候補届を担当地区選挙委員会へ提出す立候補をする者は、全国委員選挙規則付表の一に定め四、立候補の届け出

05 中四国 O4 関西

74期全国委員の資格喪失告示

恰を喪失したので告示する。

次の者は、規約第47条A項6号により全国委員資

《地方区·地方単位》

06 九州関門

田村福中上元 太 佐 涼 基 一

する。 第4期全国委員補充選挙の実施について次のとおり告示 規約第45条および全国委員選挙規則第25条に基づき、第4期全国委員・補充選挙の告示

、補充選挙を行う選挙単位と補充定員

(選挙単位コード・単位名) 地方単位 03 関東地方単位 031 関東地戸企業単位 037 関東地戸企業単位 042 商船三元、補充選挙の実施日程 川崎汽船 九州関門 商船三井さんふらわあグループ 1名 関東地区内航Dグループ 関東地区内航

にグループ 関東地区外航

にグループ 関東地区外航Bグループ 1 名 1 名名

投票期間 候補者告示 当選人告示 立候補届出期間 2024年10月5日より 2024年11月14日まで 2024年10月15日より 2024年11月15日 (予定) 2024年10月14日まで 2024年10月15日

全国委員選挙規則第25条A項により、補充選挙告示日 (1) 地方区 三、補充選挙の被選挙人

に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部機関に配属されており、選挙資格に当該地方単位の支部を対象を表する。

補充選挙の実施に関する問い合わせ先

以 上 中央選挙委員会事務局(総務部)

道南支部·集合写真

ん

海の日親善ゴルフコンペ

組合員と海事関係者の親睦を深める

全国発信記事

北海道地方支部& 道南支部=発信





の悪い中のプレーとなること る。本日は、コンディション するとの趣旨で開催されてい つ職場とする海の

恩恵に感謝 「海の日にちなみ、 日ご して松本順一北海道地方支部

王催 「令和6年度海の日親善 皆さまの親睦を深めるラウン

の大沼レイクゴルフクラブで 開催し、組合員など総勢12人

あいとプレーしながら交流を 分かれた参加者は、和気あい 健闘の結果は、布澤達夫さ

しめ、海事関係者などを含む 開会式では、主催者を代表 のイベントへ、多くの参加者 をお待ちしている。本日は大 支部長から「次年度も海の日 3位に本間公一さん (小樽沖 ん(北海道健康管理センター)、 表彰式後、松本北海道地方

さつし、参加者全員で記念撮 ドを楽しんでほしい」とあい

員からルール説明が行われ ら主催者あいさつがあり、続 開会式では、松本順一北海

打ち上げられ、4グループに 始球式では金色のボールが

の再戦を約束し、笑顔の中で 闘をたたえ合いながら来年度 B) が優勝し、第2位は福島 ん(昭和日タンマリタイム〇 さ、最後は拍手でお互いの健 リー陸上職員)となった。 **優勝者からスピーチをいただ** 沿宮本仁志さん(青函フェ **陸在籍專従執行部員、第3** 閉会式では、結果発表の後

フコンペには現場組合員をは は徐々にやんでいった。ゴル された。当日はあいにくの雨 **慢前カントリークラブで開催** 」ルフコンペ」が苫小牧市の 闘をたたえ合い親睦を深め、 無事にコースを回り健闘し となり、準優勝は湯口直也さ ん(北海道健康管理センター) 参加者全員がケガもなく ゴルフコンペ」を函館市近郊 9月27日、「秋季海員健康



南支部のコンペで優勝した布澤達夫さん(左)と

の中、ソフトボール大会が開 ム開始。6チームによる熱戦 戦はダイトーコーポレーショ が繰り広げられ、各試合とも 支部長が始球式に臨み、ゲー 催された。ゲームには船員と ンと横浜市港湾局の対決とな 貝組合の髙宮成昭関東地方 入黒ふ頭の中央公園で、 晴天 日熱した試合となった。 決勝 **馋に関係する団体など6チ** 7月20日、横浜港に面する ムが参加した。はじめに海

横浜港・大黒ふ頭で ソフトボール大会 熱戦を繰り広げる

全国発信記事

コンペは幕を閉じた。

令和6年度海の日親善ゴルフ

関東 地方支部

優勝の横浜市港湾局チ



が、病人、ケガ人を出すこと 後は参加者全員がお互いの健 フレッシュの機会となり、最 闘をたたえ、 ソフトボール大 なく、参加者にとって良いリ **煙浜市港湾局が勝利した。** 炎天下での大会となった

闘・健闘を繰り広げた結果、 り、双方が暑さに負けない奮 北方四島交流船・えとぴりか

(第3種郵便物認可)

=発信

全国発信記事

連合2024 平和行動in根室

ん



また来賓あいさつでは「洋

知事のメッセージが代読され 引き続きのお力添えをお願い をはかっていく上で、連合の ことが重要である。世論喚起 実な思いを受け止めた。一日 凡となって取り組みを進める も早い返還に向けて、全国 ハは欠かすことができない。 慰霊に参加し、 元島民の切

期一括返還、日口平和条約締 須間等連合北海道会長から知 動い沖縄」に向けて連合平和 結による真の平和の実現に向 き継がれ、最後に北方領土早 に優連合沖縄事務局長へと引 予動旗・ピースフラッグが、 そして「2025平和行

が、ロシア側が平和条約締結 から728人が参加した。 集 を表明したことなどに触れ 戦後を迎える必要がある」 と る協議なども協定破棄や中断 父渉の中断、北方四島ビザな 北方四島の一括返還、日口 爻流や共同経済活動に関す

めていく」と語った。

だいている。われわれ根室市 大きな勇気と力を与えていた ることをお誓い申し上げる。 民、ここに返還要求運動の原 **京の地の責務として語り続け**

ちの墓前に良い知らせを報告 の向こうに見える近くて遠 参の道も閉ざされ、 よう運動を継続してきたが 故郷が一日も早く返還され を消すことなく取り組みを進 必還は実現されず、

さらに 元島民の訴えとして鈴木咲

題に対する理解を深めた。 望について学び、北方領土問

、ップ集会」が納沙布岬の望 2日目は「2024平和ノ

をはじめとする根室の市民に

と考えている。また、元島民

分切な役割を果たされてきた

方領土返還要求運動を進める は「北方四島学習会」で、北 動:11根室」が開催され、初日 合) 主催の「2024平和行 日本労働組合総連合会(連

より「連合の皆さまには毎年

続いて、石垣雅敏根室市長

ための経緯や現状、課題と展

もに、返還要求運動において 根室市にお越しいただくとと

全国発信記事

北陸支部 =発信





御霊に哀悼の誠を 捧げる



くの船員の労苦を偲び今こ 年三国港船員組合創立以来 れたもので、向かって右にあ 年月に尊い船員の生命を失う る碑文石には、「昭和三十五 という大きな犠牲を払いまし 十三年を迎へました 過去の 碑は昭和48年6月に建立さ 我々組合員はこれらの多

ます」と記されている。

てこの碑が永遠の平和の光と

とのないこの大自然を前にし

なりますよう深い祈りを捧げ

見渡す限りの大海原変わるこ 殉職之碑を建立いたしました こにその霊を慰める為に船員

三国町・三国港にある船員慰 9月28日、福井県坂井市、

要を執り行った。 国底曳網乗組員の殉職追悼法 霊碑前において、殉職した三

員会役員と北陸支部のみの参 今年は遺族一人のほか三国船 族方の参列者が少なくなり、 地よい中での開催となった。 参列の呼び掛けを行ったが、 の第4土曜日に開催してい んでいる実情にあり、年々遺 強風が吹きつつも、 秋風が心 て、やっと暑さも緩み、時折 しくなられた方や高齢化が進 昨年同様に遺族の方々へ、 追悼法要は、毎年、秋彼岸

事故撲滅になお一層の努力を 寺」住職によるお経が唱えら 傾注していくことを誓い、焼 香・祈願した。 ないよう、航海の安全、海難 つな悲しみを繰り返すことの た船員の御霊に、地元「永正 一性を教訓に今後再びこのよ 底曳網船で尊い命を亡くし 哀悼の誠を捧げた。尊い

列となった。